



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 CEO (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 藤井透 TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,578	2.7	18	86.1	38	72.5	29	81.4
2022年3月期第2四半期	3,676	11.9	133	26.8	138	29.0	160	146.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8百万円 (94.3%) 2022年3月期第2四半期 146百万円 (61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第2四半期	5.49	
2022年3月期第2四半期	29.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,489	4,533	53.4
2022年3月期	8,713	4,639	53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,533百万円 2022年3月期 4,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年3月期		20.00		21.00	41.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

当社の主力製品である「アルファフレームシステム」の販売は堅調に推移しているものの、アルミ地金価格をはじめとした原材料価格の高騰が続いている一方で、様々な案件の引き合いが増加傾向にあるものの、調達部品不足や納期遅延及び代替部品への切替等により、製作品の進捗が不確実な状況にあることから、今後の動向を見極めるには今暫く時間を要すると判断し、第1四半期に引き続き、当期の連結業績予想の公表につきましては控えさせていただきます。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	5,500,000 株	2022年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	51,446 株	2022年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	5,448,554 株	2022年3月期2Q	5,448,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の再度の感染拡大がみられたものの、総じて経済活動は回復基調で推移する状況となりました。しかしながら、不安定な世界情勢を受けたサプライチェーンの混乱や原材料価格の高騰、さらには急速な円安進行などが継続しており、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような状況下においても、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の販売は堅調に推移し、装置部門の自動化・省人化装置等を中心に様々な案件に対して積極的に取り組み、受注を確保いたしました。

なお、提案営業の強化、お客様の利便性を高める新製品の開発、製造原価低減に向けた生産体制の見直し及び販売価格の見直しなどを展開しておりますが、物流逼迫の影響による代替部品調達コストの増加や工場新設による減価償却費の増加に加え、特に原材料価格の高騰による製造原価への影響は極めて大きく、利益確保が大変厳しい状況となっております。このような状況を踏まえ、本年10月1日よりアルファフレームシステムの販売価格の見直しを行うことにいたしました。1988年の販売開始以来、業務の効率化等によって製造原価低減を図ったことにより、アルファフレームシステムの販売価格を幾度となく引き下げてまいりましたが、この度、これまで一度も行っていなかった販売価格の引き上げに踏み切らざるを得ない状況に至っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,578百万円（前年同四半期比97.3%）、営業利益は18百万円（前年同四半期比13.9%）、経常利益は38百万円（前年同四半期比27.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同四半期比18.6%）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では期初より安定的な受注を確保し、回復基調で推移いたしました。特に当社独自の設計サポートサービス「カクチャ™」及び組立作業の省人化を可能とする「マーキングシステム™」を活用した案件が伸びました。また、特定顧客からの継続的な大口案件についても堅調に推移したことにより、前年同四半期と同等の売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は2,336百万円（前年同四半期比99.3%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、各種機器・部品等の調達に支障が生じている状況下において、生産ライン設備及び洗浄装置等並びにF P D製造企業向けクリーンブースの案件を複数受注いたしました。

この結果、当部門の売上高は643百万円（前年同四半期比146.1%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移し、機械設備関係についても複数の大型案件を受注いたしました。しかしながら、これら機械設備関係の納入時期が下半期に集中していることから、前年同四半期を下回る状況となりました。

この結果、当部門の売上高は598百万円（前年同四半期比67.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ223百万円減少し、8,489百万円となりました。これは主に、電子記録債権が159百万円、原材料及び貯蔵品が152百万円、建物（純額）が811百万円、土地が177百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が79百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が284百万円、建設仮勘定が1,117百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ117百万円減少し、3,956百万円となりました。これは主に、電子記録債務が126百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が183百万円、長期借入金が98百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ106百万円減少し、4,533百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上29百万円があった一方で、配当金の支払い114百万円があったことにより、利益剰余金が84百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が24百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ79百万円減少し、557百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の261百万円のキャッシュ・アウトに対し、129百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益が38百万円、減価償却費の計上が143百万円それぞれあったことや売上債権の減少による資金の増加124百万円があった一方で、棚卸資産の増加による資金の減少148百万円、仕入債務の減少による資金の減少56百万円ならびに法人税等の支払額が45百万円あったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の521百万円のキャッシュ・アウトに対し、22百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が26百万円あったことや有形固定資産の売却による収入が16百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の203百万円のキャッシュ・アウトに対し、189百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは長期借入金の返済による支出が98百万円あったことや配当金の支払額が114百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、COVID-19の感染拡大の影響に始まった不安定な世界情勢が継続していることから、サプライチェーンの混乱等による需給ギャップが解消せず、各国中央銀行は金融引き締め政策を行っておりますが、原材料価格を含めたインフレーションがとどまる兆しは見られません。今後、物価が安定すること、また、各国の経済対策等によって、経済活動及び生産活動は回復することが見込まれるものの、先行きの不透明感は当面続くことが予想されます。

このように、アルミ地金価格をはじめとした原材料価格の高騰が続いている一方で、様々な案件の引き合いが増加傾向にあるものの、調達部品不足や納期遅延及び代替部品への切替等により、製作品の進捗が不確定な状況にあることから、今後の動向を見極めるには今暫く時間を要すると判断し、第1四半期に引き続き、当期の連結業績予想の公表につきましては控えさせていただいております。

なお、動向を見極めることが出来次第、速やかに開示する所存であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	636,690	557,368
受取手形、売掛金及び契約資産	1,104,409	819,785
電子記録債権	1,404,892	1,564,605
商品及び製品	164,712	201,384
仕掛品	479,895	439,402
原材料及び貯蔵品	454,050	606,107
その他	91,434	33,293
流動資産合計	4,336,086	4,221,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,089,342	3,972,658
減価償却累計額	△1,554,015	△1,625,853
建物及び構築物（純額）	1,535,326	2,346,804
土地	733,647	910,693
その他	2,340,898	1,312,842
減価償却累計額	△766,293	△801,311
その他（純額）	1,574,605	511,531
有形固定資産合計	3,843,579	3,769,029
無形固定資産		
その他	37,796	32,215
無形固定資産合計	37,796	32,215
投資その他の資産		
その他	495,747	466,273
投資その他の資産合計	495,747	466,273
固定資産合計	4,377,123	4,267,518
資産合計	8,713,210	8,489,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,676	426,123
電子記録債務	954,308	1,080,524
短期借入金	—	50,000
未払法人税等	54,359	12,343
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
賞与引当金	69,036	70,006
製品保証引当金	1,199	922
その他	199,739	209,131
流動負債合計	2,085,320	2,046,051
固定負債		
長期借入金	1,606,000	1,507,500
退職給付に係る負債	228,802	237,004
その他	153,581	165,486
固定負債合計	1,988,383	1,909,991
負債合計	4,073,703	3,956,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,302,199	4,217,729
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,569,144	4,484,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,450	22,984
為替換算調整勘定	22,879	25,730
その他の包括利益累計額合計	70,329	48,715
非支配株主持分	32	34
純資産合計	4,639,506	4,533,424
負債純資産合計	8,713,210	8,489,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,676,867	3,578,050
売上原価	2,939,722	2,934,928
売上総利益	737,144	643,121
販売費及び一般管理費	603,615	624,625
営業利益	133,528	18,495
営業外収益		
受取配当金	1,520	1,445
仕入割引	2,201	3,144
為替差益	3,270	1,162
固定資産売却益	1,385	16,108
その他	1,429	1,697
営業外収益合計	9,806	23,557
営業外費用		
支払利息	4,278	3,906
その他	603	99
営業外費用合計	4,881	4,006
経常利益	138,453	38,047
特別損失		
関係会社整理損	39,294	—
特別損失合計	39,294	—
税金等調整前四半期純利益	99,158	38,047
法人税、住民税及び事業税	47,311	5,544
法人税等調整額	△108,746	2,553
法人税等合計	△61,434	8,098
四半期純利益	160,592	29,949
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,635	29,950

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	160,592	29,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,945	△24,465
為替換算調整勘定	△6,532	2,853
その他の包括利益合計	△14,478	△21,611
四半期包括利益	146,114	8,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,162	8,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△47	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,158	38,047
減価償却費	117,048	143,659
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,593	969
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	18	△277
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	170	8,201
受取利息及び受取配当金	△1,522	△2,388
支払利息及び手形売却損	4,278	3,906
固定資産売却損益 (△は益)	—	△16,108
売上債権の増減額 (△は増加)	△407,943	124,916
棚卸資産の増減額 (△は増加)	117,178	△148,234
仕入債務の増減額 (△は減少)	△134,710	△56,946
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,440	65,805
関係会社整理損	39,294	—
為替差損益 (△は益)	△698	—
その他	△8,038	15,582
小計	△194,612	177,133
利息及び配当金の受取額	1,522	2,302
利息の支払額	△4,278	△3,906
法人税等の支払額	△63,824	△45,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	△261,193	129,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△507,478	△26,910
有形固定資産の売却による収入	—	16,185
無形固定資産の取得による支出	△2,446	△2,065
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
その他	△8,849	△7,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521,174	△22,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△65,500	△98,500
配当金の支払額	△114,203	△114,262
その他	△23,828	△26,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,531	△189,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△425	2,794
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△986,325	△79,321
現金及び現金同等物の期首残高	1,461,114	636,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	474,788	557,368

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,843,759	81.3	859,131	66.3
装置部門	613,045	120.4	318,058	119.1
商事部門	853,158	131.2	590,497	148.0
合計	3,309,964	96.5	1,767,687	90.1

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	2,336,868	99.3
装置部門	643,181	146.1
商事部門	598,000	67.7
合計	3,578,050	97.3